

文化
情報

姫路

6
2022



森口博子



BEYOOOONDS



藤原いくろう



©TakashiFujimoto

パシフィック フィルハーモニア東京

特集

姫路の文芸同人誌

柳谷郁子さんインタビュー ほか

PICK UP

姫路市ジュニアオーケストラ 第1回定期演奏会
池辺晋一郎芸術監督シリーズ 音楽をのぞいてみよう！ 第3回 バッハ
おなかをすかせた真夜中のファンタジー「キッチン」

Information

パルナソス 朝のハーモニー No.235 オルガンコンサート
いいむらなおきマ임カンパニー「かえるの？ 王子さま」
オルガンシリーズ Vol.12
パク・ジュンホ オルガンリサイタル

姫路の文芸同人誌

戦後、播磨地域には多くの同人誌が誕生しました。詩や小説、俳句や短歌などの同好が集まり誌上で作品を発表したことは、地域の文化芸術の発展をもたらすとともに、日本の文学の土壌を支えるものでもありました。

姫路を拠点とする文芸同人誌のひとつ『播火』の編集長を長く務めた柳谷郁子さんと、播磨の文学界に詳しい大西隆志さんに、お話を聞きました。

書くことは、 命の火を自分らしく燃やすこと

作家 柳谷 郁子さん



離れの書斎は「郁子」をもじって「一ヶ庵」と名付けられています

—『播火』創刊の経緯について教えてください。

戦後まもなく創刊した『姫路文学』の同人、宝谷 叡さんに見出されたのがきっかけです。自分は文学への志が捨てきれない、だから文学同人誌を出せと、4年間、毎日のように説得されました。その根気と切実さに負け、お引き受けすることにしました。

しかし私は信州から来たよそ者。一緒にやってくださる地元の方がいらっしゃると心強いと思い、藤井鈴代さんに声をかけさせてもらおうと、快く引き受けてくださった。創刊同人は宝谷さん、鈴代さん、浅田耕三さんと私の4人です。

—誌名は柳谷さんの命名ですね。

『姫路文学地帯』という名前にしたかったんです。そこで、『姫路文学』主幹の沖塩徹也さん、沖塩さんは早稲田の大先輩なのですが、「姫路文学」を名前に入れてもいいですかとお尋ねしたら「ダメ」と。そこで、播磨の火が広がるようにという想いを込めて『播火』、サブタイトルを「播磨文学地帯」としました。

年4回の刊行を守り、10年ごとに同人競作集を編みました。実力のある方が集まり、いい作品を書いてくださり、ただただ、ありがたかったです。

—どんな子ども時代でしたか。

お蔵に入っては手当たり次第に本を読む、まさに本の虫でした。小学3年生くらいのとき、先生が「みなさんにとって学校は必要ですか」のような質問をされたんです。私は「いりません」と答えました。「いりません、本さえあれば」。

『主婦の友』まで読んでいたものですから、母が先生に相談したことも。先生は「どんなものを読んだって、脳がきちんと取捨選択してくれます。郁子ちゃんなら大

表紙の写真

アクリエひめじオープニングシリーズ HimeFes 2022
森口博子×BEYOOOOONDS with
パシフィック フィルハーモニア東京
国民的アニソン歌手と、令和デビューのハロプロ系アイドル
グループが姫路に初登場！

8月29日(月) 18:30~/アクリエひめじ 大ホール
S席 6,000円、A席 5,000円、B席 4,000円
(高校生以下各半額、全席指定)

出演/ヴォーカル：森口博子、BEYOOOOONDS
指揮：藤原いくろう

管弦楽：パシフィック フィルハーモニア東京

一般発売日 6月8日(水)[財団友の会 6月6日(月)]

※未就学児の入場はできません。

問 パルナソスホール 079-297-1141

丈夫ですよ」と言ってくださったそうです。小学6年生のときに小説を書き始め、中学1年生のときに学友会誌に掲載されました。

——結婚を機に姫路へ。家庭を守りながらの執筆は大変だったのでは。

学生時代は『早稲田文学』の同人でした。「小説を書くことさえ許してくれれば、あとは我慢します」と夫と約束していましたが、大家族の家に嫁ぎ、夫を支え、4人の子どもを育て、毎日あっぴあっぴして、30年ほどはペンを握れなかった。

私が書く人間だということを周りに認識してもらえたのは『播火』のおかげです。嫁として精一杯やらせていただきつつ、書くことにも力を注ぎました。『播火』は私が自由になれる大切な場所。本来の私の道を示し、私を救い出してくださった宝谷さんに、ほんとうに感謝しています。

——「これを書きたい」というものはどのように見つけますか。

小説は彫刻や絵画と同じで「対象物がおもしろい、だから作品にしたい」のだと思います。私がいちばんおもしろいと思うのは人間。少女の頃から「人間を書く」ということは一貫しています。しかも、人間の暗部を抉り出す。容赦なく引きずり出して見せる。ただ出すだけではなくて、自分流に味付けをして出す。他人の暗部を見るといっても、実際は、自分の中にあるものが感応して、相手の中に見ているんですよ。

小説はフィクションですが、読み手は探りを入れたく

なるもの。どんな作家でも、片鱗は作品に出てしまうんでしょうね。書くということは、恐ろしいことなんです。

——恐ろしいけれども書き続けるのはなぜですか。

なぜ。それは、文学が好きだからです。私にとって「生きたい」と「本にする」はイコール。命の火を燃やし続けるだけでなく、自分らしく燃やしたい。

いまは長編を書いています。タイトルは決まっています。『湖上の蜚』です。自伝的、ノンフィクションに近い作品になるような気がしています。

デジタル化が進んでも、本当に良い作品は、紙で残っていくと信じています。本の虫でしたので、やっぱり本を残したい。私の本が残っていくようであれば、そんな幸せなことはありません。



1989年に文芸同人誌『播火』を創刊、編集長を務めるだけでなく、毎月、巻頭エッセイと小説を掲載。大阪女性文芸賞を受賞した『月柱』(1996)をはじめ優れた作品を次々と世に送り出し、『播火』編集長を退いてからも『美しいひと』(2019)、『となりの男』(2021)を刊行するなど活躍を続け、昨年度の姫路市芸術文化大賞を受賞しました。

姫路のトライアングル

詩人 大西 隆志さん



播磨地域の同人誌はいわゆる「3号雑誌」も多く、僕も『泊』『ペルレス』『采』をつくりましたが、どれも長くは続かなかった。『姫

路文学』をはじめ、『文芸日女道』『播火』などが歴史を刻み続けているのは、すごいことだと思います。

『姫路文学』は1948年の創刊で、沖塩徹也さんら旧制姫路中学OBが中心となって精力的に刊行していましたが、同人の宝谷 叡さんが『城砦』を、船地 慧さんが『SARUTAN』を出すなどして分裂し、20年ほど休刊。1995年に井上久男さんが復刊されました。純文学というか、ベテランの書き手が自分の世界を発表する権威ある雑誌、という印象です。いま135号まで出ています。分厚くて、読み応えがあります。

『文芸日女道』は、1967年に『姫路文学人会議』という名前で創刊しました。1985年に改題してから地域的にも書き手的にも幅広くなり、おもしろさが増したと思います。市川宏三さんが長く編集長を務めておられて、そ

の人間味が出ているというか、庶民的な中に知性がある、そんな雑誌です。月刊を継続し、まもなく650号というのがすごい。勉強会的な要素もあり、確実に文学の裾野を広げていると感じます。

1989年創刊の『播火』には、新しいものをつくろうとする表現活動の前向きさを感じました。柳谷郁子さんの「播磨でとどまってなどいられない」というような文学への情熱、文壇に出ていくのだという野望のようなものも伝わってきます。

この3冊はいずれも編集長が交代していますが、三者三様、それぞれの良さでもって、美しいトライアングルを形成していると思います。全国的に同人誌が少なくなってきたなかで、これからどのような発展をみせてくれるのか、楽しみにしています。



大阪文学学校出身。古書店・出版社「書肆 風羅堂」代表で、兵庫県現代詩協会常任理事。20代前半で中央詩壇に登場し「地元では『生意気な若造』と言われながら、かわいがられていた」。詩集『緋名で呼ばれた場所』『オン・ザ・ブリッジ』、読本『小野十三郎を読む』(共著)などの著書があり、フォークバンド「ひとつ山こえてみよう会」メンバーでもある。

アクリエひめじ

多田周子 ふるさとコンサート2022 ～6月のロマネスク～

6月5日(日) 16:00～

中ホール/4,500円

たつの市出身の歌手、多田周子さんが「赤とんぼ」など日本を代表する童謡や抒情歌、播磨の景色を想って作ったオリジナル曲などを歌います。

問 多田周子ふるさと後援会事務局 0791-63-3555(ガレリア)

Earth Child Samba Live Vol.13

6月11日(土) 13:30～

中ホール/一般 1,000円、中学生以下 500円(当日 各500円増)

徳島県の「阿波十郎兵衛屋敷」による阿波人形浄瑠璃と、情熱的なサンバ音楽をお届けします。



問 ブラジル音楽マトリックス 080-6189-4976

MonDieu CD発売記念コンサート

6月12日(日) 14:00～

小ホール/3,000円(当日 3,500円)

土井美佳さん(ヴァイオリン)、伊藤淳介さん(リードギター)、國光秀朗さん(リズムギター)、上山崎初美さん(コントラバス)によるジブシージャズバンドのコンサート。

問 MonDieu mondieu_gypsyjazz@yahoo.co.jp

A I DREAM TOUR

6月26日(日) 17:30～

大ホール/7,900円

問 キョードーインフォメーション 0570-200-888

パルナソスホール

兵庫県立姫路東高等学校吹奏楽部

第45回定期演奏会

6月5日(日) 13:30～16:00/無料

問 県立姫路東高校 079-285-1166

パルナソス 朝のハーモニー No.234

偉大なる作曲家たち ～ロシアンロマンチズム～

6月11日(土) 10:30～11:30

500円 ※財団友の会会員、高校生以下 無料(要チケット)

北垣 彩さん(チェロ)、今田 篤さん(ピアノ)によるラフマニノフ: ヴォカリーズ Op.34-14、プロコフィエフ: チェロソナタハ長調 Op.119など、ロシアの作曲家の壮大な作品をお楽しみください。



北垣 彩



今田 篤

問 パルナソスホール 079-297-1141

チェンバロ講座 課題曲ワークショップ

6月11日(土) 17:30～

聴講料 3,000円(要申込)

チェンバリストで東京藝術大学教授の大塚直哉さんが講師を務めます。

問 パルナソスホール 079-297-1141

田中彩子 ソプラノリサイタル

6月19日(日) 14:00～16:00

一般 5,000円、高校生以下 3,000円

「天使の歌声」と絶賛される田中彩子さんの演奏会。「田中彩子さんと歌う合唱団」が共演します。ピアノは山中歩夢さん。

問 姫路労音 079-290-5522

オルガン講座「1日体験」

6月26日(日)【A(小・中学生)】13:00～14:30、【B(小学生以上どなたでも)】15:00～16:30

受講料 2,000円(定員各6名程度、6月6日(月)までに申込)、観覧料 500円(要申込)

楽器の女王・パイプオルガンを体験します。講師はパルナソスホールオルガニストの長田真実さん。鍵盤楽器の経験は問いません。

問 パルナソスホール 079-297-1141

姫路キャスパホール

桂南光 独演会

6月5日(日) 14:00～16:15

一般 4,000円、高校生以下 2,000円

桂南光、桂ちょうば、桂二乗、桂二豆が出演します。



問 姫路労音 079-290-5522

大阪音楽大学《幸楽会》姫路支部

第23回定期演奏会 ムジカメールコンサート

6月12日(日) 14:00～16:00

900円 ※感染状況により内容変更の場合あり

問 大阪音楽大学同窓会《幸楽会》姫路支部 090-8377-4758(富田)

河内家菊水丸 独演会

6月22日(水) 18:00～19:30

無料(定員200名、6月10日(金)までに申込)

問 見野の郷交流館 079-252-6659

映画「めぐみへの誓い」上映会

6月26日(日) ①10:30～12:30②14:00～16:00/無料

拉致被害者の横田めぐみさん、田口八重子さんの家族を中心とした、実話をもとにした物語。特定失踪者問題調査会代表の荒木和博さんによるビデオメッセージも。

問 「めぐみへの誓い」姫路上映委員会 090-8484-0572(前川)

そのほか

杉本博司 Five Elements 五輪塔 地 水 火 風 空

8月31日(水)まで

書写山圓教寺 常行堂

一般 500円、高・大生 200円、小・中生 100円(別途拝観志納金が必要)

問 姫路市立美術館 079-222-2288

ぶんがくかん おはなし会

6月18日(土) 11:00～11:20

姫路文学館 南館/無料

姫路文学館友の会ボランティアによる絵本のよみきかせです。0歳児から幼児対象。

問 姫路文学館 079-293-8228

朗読会「特集 森鴉外 その1」

6月25日(土) 13:30~15:00

城内図書館 2階中会議室/無料

「サークルさえずり」会員が山崎光夫『鴉外青春診療録控』よりを朗読します。

問 城内図書館 079-289-4887

つわもの

兵プラストリオ

6月4日(土) 14:00~

加古川市民会館 中ホール/一般 1,800円、大学生以下 500円

兵庫県出身の菊本和昭さん(トランペット)、岡本 哲さん(トロンボーン)、佐竹裕介さん(ピアノ)が出演します。

問 加古川市民会館 079-424-5381

わくわく市民劇場

はりまのくに風土記 ~大地が生んだ・たつのはじめて物語~

6月5日(日) ①11:00~②14:30~

アクアホール(たつの市)/800円

問 アクアホール 0791-72-4688

書写の里・美術工芸館 079-267-0301

春季特別展「姉妹都市提携50周年・鳥取の美術工芸と民藝」

6月12日(日)まで、10:00~17:00

一般310円、高・大生210円、小・中生50円

鳥取市の美術工芸や歴史資料、県下の民藝、郷土玩具など約60点を紹介します。

●ガイドツアー(展示解説会)

6月4日(土) 14:00~14:30

要入館料/定員先着15名

コーナー展示「青森県の諸玩具」

8月18日(木)まで、10:00~17:00

一般310円、高・大生210円、小・中生50円

夏季特別展

「日本陶芸美術協会姫路展 ~第9回陶美展作品を中心に~」

6月18日(土)~8月28日(日)、10:00~17:00

一般 310円、高・大生 210円、小・中生 50円

日本陶芸美術協会会員および公募審査による入選作など約70点を一堂に紹介します。

●やきもの探検ツアー

6月25日(土) ①10:30~②13:30~

要入館料/定員各回先着15名(小学6年生以下対象)

●展示解説会

6月25日(土) ①11:00~②14:00~

要入館料/定員各回先着15名



人間国宝・伊藤赤水「無名異練上花紋壺」個人蔵

姫路市立美術館 079-222-2288

濱田 観 花鳥画の世界

6月19日(日)まで、10:00~17:00

コレクションギャラリー/無料

姫路出身の日本画家・濱田 観の大作を中心に展示します。

姫路文学館 079-293-8228

特別展「生誕100年記念 山田風太郎展」

6月5日(日)まで、10:00~17:00

一般 700円、高・大生 400円、小・中生 200円

同時開催「ミステリ作家たちの横顔展 in 姫路」

6月5日(日)まで、10:00~17:00/無料

特別展「とびだせ! 長谷川義史展」

6月25日(土)~9月4日(日)、10:00~17:00

一般 700円、高・大生 400円、小・中生 200円

●長谷川義史さん 絵本ライブ&サイン会

6月25日(土) 13:30~16:30

要観覧券/定員120名(6月10日(金)までに申込)

市民ギャラリー 079-287-0830

第5回 幸峰会書展

6月8日(水)~12日(日)、10:00~18:00

第3展示室/無料

問 幸峰会 079-234-8928(池田)

第31回 版画サロン展

6月14日(火)~19日(日)、10:00~17:00

第1展示室/無料 ※初日は13:00~

問 姫路版画サロン 079-266-6405(市川)

第11回 景水会書展 併催 学童展

6月24日(金)~26日(日)、10:00~17:00

第1~第4展示室/無料

問 景水会 0791-62-0096(田中)

第36回 洋画家連合展

6月29日(水)~7月3日(日)、10:00~17:00

第3・第4展示室/無料

問 洋画家連合 079-447-0079(安部)

平和資料館 079-291-2525

春季企画展「刻まれた戦争の記憶」

~姫路城周辺と名古屋の石碑めぐり~

7月3日(日)まで、9:30~17:00

無料

埋蔵文化財センター 079-252-3950

企画展「TSUBOHORI 一発掘調査展2022-1」

10月10日(祝)まで、10:00~17:00/無料

日本玩具博物館 079-232-4388

端午の節句 ~京阪の武者飾り~

6月26日(日)まで、10:00~17:00

一般 600円、高・大生 400円、4歳以上 200円

幕末から昭和の時代に町家で親しまれた武者人形や甲冑飾り約30組を紹介します。

三木美術館 079-284-8413

涼風便り 一絵画・工芸品より「涼」をお届けします

6月1日(水)~8月28日(日)、10:00~18:00

高校生以上 300円

ギャラリー ルネッサンス・スクエア 079-224-8772

第35回 こどもの絵画展

6月11日(土)~26日(日)、

10:00~18:00

無料



募 集

応募方法などの詳細はホームページでご確認ください。

第22回 上田晴子ピアノスクール「マスタークラス」(聴講)

7月28日(木)～31日(日)、10:00～17:00

パルナソスホール

講師／上田晴子さん(パリ国立高等音楽院室内楽科教授・ピアノ科准教授)

2,000円(当日までに申込)

上田晴子さんによるソロ・アンサンブルの公開レッスンです。

問 パルナソスホール 079-297-1141

チェンバロ講座「1日体験」

8月11日(祝) 13:00～14:00

パルナソスホール

講師／高橋千恵さん

2,000円／定員5名程度(小学生以上対象)

申込／6月8日(水)～7月13日(水)

15～18世紀のバロック音楽に欠かせない鍵盤楽器「チェンバロ」を体験します。鍵盤楽器の経験は問いません。

問 パルナソスホール 079-297-1141

あじさい俳句コンテスト

募集期間／6月4日(土)～7月10日(日)

問 見野の郷交流館 079-252-6659

第八回 藤原正彦エッセイコンクール

募集期間／6月10日(金)～9月15日(木)必着

エッセイストとしても知られる、数学者・姫路文学館館長の藤原正彦さんが選考を務めるコンクールです。【中学生部門】【高校生部門】【一般部門】で作品を募集し、優秀作品を表彰します。テーマは自由、400字詰原稿用紙5枚以内。

問 姫路文学館 079-293-8228

市民教養講座(現代社会講座)「戦後70年をふりかえる」

7月～11月の第3水曜日、10:30～12:00

市民会館 大ホール

講師／伊藤之雄さん(京都大学名誉教授)

2,000円／定員400名

申込／6月6日(月)まで

問 生涯学習課 079-221-2784

第48回 姫路市高齢者作品展

募集期間／6月30日(木)まで

市内在住の満60歳以上の方が出品できる作品展。自身が創作した未発表作品(1人1点)400点程度を募集。作品展は8月下旬に市民ギャラリーで開催します。

問 生涯現役推進室 079-221-2986

新刊紹介

NHK8K 国宝へようこそ 姫路城

NHK「国宝へようこそ」制作班・編著

「多彩な櫓・土塁・石垣に囲まれた姫路城連立式天守」や「朝日を浴びる姫路城」「満月と大天守」「濡れる瓦」などを、8Kから生成した高精細の静止画で綴る愛蔵本。天下無双の姫路城がもつ「最強の防衛力」「最高の美しさ」「最高度の政治性」が体感できます。パンカル編集長の中元孝迪さんが解説を執筆しています。(3,800円+税)

問 NHK出版 0570-000-321(注文)



文化国際課からのお知らせ 079-221-2098

エコパークあぼしに ストリートピアノを設置しました

「エコパークあぼし」内にある環境楽習センター1階に、市内で2台目となるストリートピアノを設置しました。これは「音楽のまち・ひめじ」プロジェクトの一環で、音楽による地域の文化振興や市民交流を目的としています。

休館日(原則水曜日)を除く9:00から17:00までならいつでも演奏できます。お立ち寄りの際に、ぜひお楽しみください。



補助金制度の内容が一部変更になりました

文化芸術の振興を目的に実施する事業に対し、市施設使用料の3割を補助する「姫路市文化芸術事業会場費補助金」制度について、4月から内容が一部変更になりました。

- ・小中高等学校、大学、幼稚園、保育園等の主催行事は補助金の対象外となります。
- ・リハーサルについては、本番と連続した使用期間内に同じ施設で行うものに限り、補助金の対象となります。
- ・アクリエひめじの展示場・パントリー・屋外展示場の利用は補助金の対象外となりますが、大・中ホール使用の際に控室等として利用する場合は対象となります。

詳しくは文化国際課へお問合せください。

女流王位戦第1局 大盤解説会が開催されました



将棋の第33期女流王位戦5番勝負の第1局が、4月26日に夢前町の旅館「夢乃井」で行われ、その局面をプロ棋士が解説する大盤解説会が姫路キャスパホールで開催されました。新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催となり、訪れた将棋ファンは、舞台上で繰り広げられる解説を楽しみました。



「文化情報 姫路」は、県内の自治体広報誌や観光ガイドブックなどが閲覧できる「HYOGO ebooks」で配信しています。スマートフォンなどからご利用ください。



姫路市ジュニアオーケストラ 第1回定期演奏会
7月3日(日) 14:00～ アクリエひめじ 大ホール

姫路市ジュニアオーケストラ 初の定期演奏会！

2020年8月に結成された「姫路市ジュニアオーケストラ」の第1回定期演奏会を開催します。

結成以降、数々の演奏会に出演していますが、今回が自身の初の定期演奏会ということで、今年1月から本格的に、演奏会に向けた練習が始まりました。通常の練習は毎週日曜日、午後1時から4時までの3時間でしたが、現在は正午から午後5時半までと、長時間の練習を行っています。

練習を重ねるごとに演奏に磨きがかかり、団員一人ひとりに成長がみられます。講師の助言に注意深く耳を傾け、鉛筆を走らせるなど、練習に対する真剣さが増しています。また長時間の練習になったことにより、休憩時間などで団員同士の会話が増え、お互いに助け合っている様子を見るのも喜ばしいことです。

コロナ禍により、コミュニケーションがなかなか取りづらい状況ではありますが、そんな中でも団員は一丸となり、練習に励んでいます。まだまだ成長を続ける彼らの初の定期演奏会。アクリエひめじで、是非、若いエネルギーを体感してください。(S)



池辺晋一郎芸術監督シリーズ 音楽をのぞいてみよう！ 第3回 バッハ
7月18日(祝) 14:00～ パルナソスホール



第1回・モーツァルト

作曲家が作曲家を大解剖！ 「バッハの譜面ときたら、本当にすごいのだ」

「モーツァルトは大天才ですよね。きょうはそんな大作曲家の生涯や業績を話しに来た——のではありません。きょうは『もしここにこういう調味料（音符）をひとつ加えたら、音楽が変わっちゃうぞ』というコンセプトでみてみます」(2021.9.23)

N響アワーの解説でもおなじみの池辺晋一郎さんが、作曲家ならではの視点で音楽を大解剖していくシリーズ「音楽をのぞいてみよう！」が、昨年9月の「モーツァルト」を皮切りにスタートしました。毎回ひとりの作曲家に焦点をあて、生演奏で名曲を聴きながら、池辺さんのトークとともに贈りしています。第2回は「シューベルト」を取り上げ、両公演ともチケットはほぼ完売という盛況ぶりでした。

7月の第3回は、ヨハン・セバスティアン・バッハ。「バッハの譜面ときたら、本当にすごいのだ」と語る、同業者からみた名曲の名曲たるゆえんとは。お得意のダジャレを交えつつ、時折自らピアノを弾き、小難しい分析や学者的なアプローチは一切なし！この公演を聴くと、音楽を聴くことがもっと楽しくなる、音楽をもっと知りたくなること間違いなしです。(A)

おなかをすかせた真夜中のファンタジー「キッチン」
8月16日(火) 18:00～ 姫路キャスパホール

「キッチン」の世界に飛び込んでみよう！ ワークショップに参加する小学生を募集中

「キッチン」に出演するチャンス！公演前日の15日(月)に、小学生のためのリズムとダンスのワークショップを開催します。

この公演は、お腹をすかせて真夜中のキッチンにまぎれ込んだ女の子の一夜のファンタジー。ピアノとクラリネット、そして美しいコーラスといった生の音楽とダンスが一つになって、楽しくフシギな夢のキッチンにお連れします。

この公演の出演者で神戸市出身の振付家・岡 登志子さん、ドイツ在住のピアニスト・高瀬アキさんらによる、簡単なリズム遊びのワークショップを実施します。洗ったり、切ったり。トマトはどんなかたち？など、キッチンから生まれる音や動きを楽しく表現します。

気がつけばあなたも「キッチン」の一員！ご応募お待ちしております。(Y)



2017年 高瀬×岡シリーズ「飛ぶ教室は今」より

ワークショップ : 8月15日(月) 14:00～16:00
リハーサル(自由参加) : 8月16日(火) 16:30～17:30
本番 : 8月16日(火) 18:00～19:00
参加費 500円/定員30名(先着順)
☎ 079-284-5806または窓口で申し込み



パイプオルガンの多彩な響きに包まれて



パルナソス 朝のハーモニー No.235 オルガンコンサート

朝、昼、夜と移り変わる情景を、パイプオルガンの豊かな響きでお楽しみください。

出演/清水奏花(オルガン)
曲目/J.S.バッハ：前奏曲とフーガ イ長調 BWV536
ドビュッシー：月の光
サン＝サーンス：死の舞踏 ほか

7月9日(土) 10:30～

パルナソスホール/500円(全席指定) ※財団友の会会員、高校生以下無料(要チケット)。
3歳以上入場可
※6月3日(金)からパルナソスホールで受付

問 パルナソスホール 079-297-1141

ゆかいで不思議な冒険の物語



いいむるなおきマイムカンパニー 「かえるの? 王子さま」

旅に出ていた王子さまは、そろそろお家に帰りたい。あれ? お家はどっちだ? 風に飛ばされ海に落ちこち、大事なカバンをなくしたり...
パントマイムによるスピード感あふれる舞台が、幻想的な世界へといざないます。0歳から入場可。こどもたちの好奇心をくすぐる無言劇を、ご家族みんなでお楽しみください。

9月10日(土) ①11:00～②14:30～

姫路キャスパホール
一般 1,500円、小学生以下 500円(全席指定)
一般発売日 6月23日(木) 財団友の会 6月21日(火)

問 姫路キャスパホール 079-284-5806

実力派の若手オルガニストが初登場



オルガンシリーズ Vol.12 パク・ジュンホ オルガンリサイタル

オルガン界最高峰の仏シャルトル国際オルガンコンクールで第2位を獲得するなど、国際的なキャリアを持つ若手オルガニスト、パク・ジュンホ。ドイツの古い作品からフランス近現代まで幅広いレパートリーを弾き分ける演奏は必聴です。

曲目/J.S.バッハ：前奏曲とフーガ ホ長調 BWV566

J.A.ラインケン：トッカータ ト長調 ほか

9月25日(日) 14:00～

パルナソスホール
一般 2,000円、高校生以下 1,000円(全席指定)
一般発売日 6月9日(木) 財団友の会 6月7日(火)

問 パルナソスホール 079-297-1141

発売中

6月11日(土) 10:30～
パルナソス 朝のハーモニー No.234
偉大なる作曲家たち ～ロシアンロマンス～
パルナソスホール/500円(全席指定)

※財団友の会会員、高校生以下無料(要チケット)
※3歳以上入場可
問 パルナソスホール 079-297-1141

7月3日(日) 14:00～
姫路市ジュニアオーケストラ 第1回定期演奏会
アクリエひめじ 大ホール
一般 1,000円、高校生以下 500円(全席指定)

出演/山下一史(指揮)、三浦章宏(独奏)、姫路市ジュニアオーケストラ
曲目/ドヴォルザーク：交響曲第8番 ト長調 作品88
メンデルスゾーン：フィンガルの洞窟 作品26 ほか
問 パルナソスホール 079-297-1141

7月18日(祝) 14:00～
池辺晋一郎芸術監督シリーズ
音楽をのぞいてみよう! 第3回 バッハ
パルナソスホール
一般 2,000円、高校生以下 1,000円(全席指定)

出演/池辺晋一郎(お話)、渡辺紗蘭(ヴァイオリン)、北垣 彩(チェロ)、長田真実(オルガン・チェンバロ・ピアノ)
曲目/J.S.バッハ：トッカータとフーガ ニ短調 BWV565 ほか
問 パルナソスホール 079-297-1141

8月16日(火) 18:00～
おなかをすかせた真夜中のファンタジー「キッチン」
姫路キャスパホール
一般 2,000円、小学生以下 500円(全席指定)
※0歳から入場可

出演/高瀬アキ(ピアノ)、ダニエーレ・ダガーロ(クラリネット)、チアラ・デ・サンティ(歌)、アナリーゼ・ボントン(歌)、岡 登志子ほか6名のダンサー
8月15日(月)に小学生のためのワークショップを開催(詳細は7ページ)
問 姫路キャスパホール 079-284-5806

8月20日(土) 14:00～
第50回 姫路落語会
アクリエひめじ 中ホール
4,000円(全席指定)

出演/桂ざこば、桂南光、桂米園治、桂南天、桂吉の丞、桂弥っこ
※小学低学年以下は入場できません
問 姫路キャスパホール 079-284-5806

8月21日(日) 13:30～
第28回 キャスパ能
姫路キャスパホール
一般 4,000円、高校生以下 2,000円(全席指定)

能「小管」恐え舞 井上裕久、江崎欽次朗 ほか
仕舞 吉井基晴、田中章文、山田義高
同日11:00～、初心者向け人気講座「能さいしょの一步 その20」を開催
問 姫路キャスパホール 079-284-5806

9月29日(木) 14:00～
懐かしの洋楽ヒットパレード 第21回
～旅の思い出につながるこのメロディ～
姫路キャスパホール
700円(全席指定)

色褪せない永遠の名曲を、元ラジオ関西アナウンサー・三浦絢朗さんが軽妙なトークと共にお届けするCDコンサートです。
みなさまからのリクエストも募集中!
問 姫路キャスパホール 079-284-5806

※特に記載のない催しは未就学児入場不可

情報をお寄せください

「文化情報 姫路」は姫路市内および播磨地域で開催されるコンサート、舞台、展覧会などの情報を掲載しています。催しのタイトル・日時・料金・問合せ先を、お気軽にお寄せください。原稿の締切は、催し開催月の2カ月前の15日(8月開催なら6月15日)です。

「文化情報 姫路」は姫路市文化国際交流財団ホームページにも掲載しています。



● 内容が変更となる場合がございます。

姫路市文化国際交流財団 友の会 会員募集中

いつでもご入会いただけます。

年会費 1,000円 会員期間 1年間

特典① 一般発売日の2日前からチケットが購入できます※

特典② チケットを割引価格で購入できます※

特典③ 「文化情報 姫路」などの公演情報をお送りします

※財団自主公演のみ

ご入会手続きは姫路キャスパホールおよびパルナソスホールのプレイガイドをご利用ください。

プレイガイド営業時間 10:00～17:00

問 姫路キャスパホール 079-284-5806

パルナソスホール 079-297-1141

